

令和6年度シンポジウム「若手医師の挑戦」  
令和6年5月11日（土）

# 「未来医師会ビジョン委員会」 答申報告

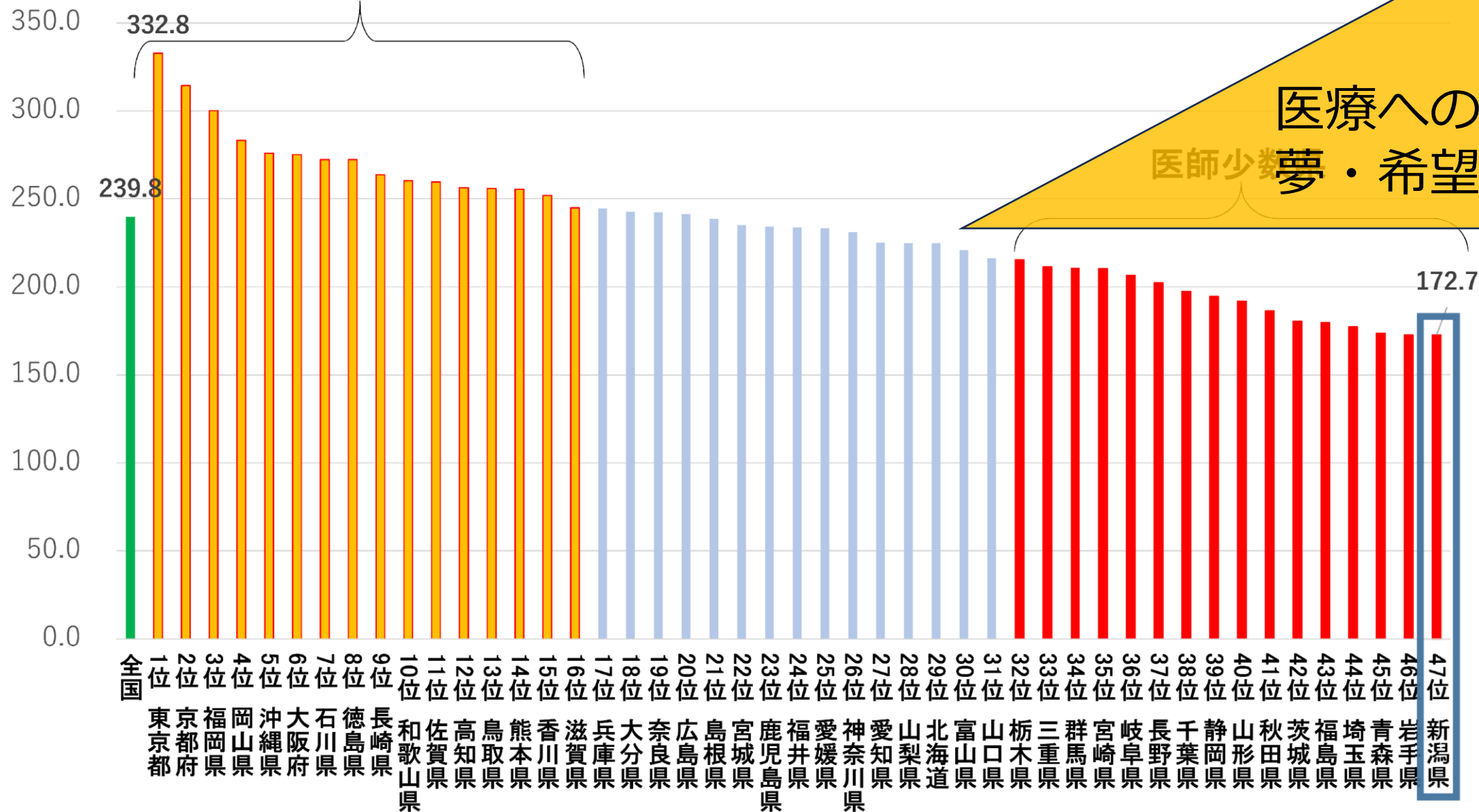
新潟県医師会理事  
未来医師会ビジョン委員会  
委員長  
小柳 亮

# 新潟で医療をすることの意義・意味

## 医師偏在指標

医師多数県

医療への  
医師少数  
夢・希望



# 依田 勉三

開拓者。北海道開墾を目的として結成された「晩成社」を率い帯広市を開拓した。



民間資金により、帯広の地を開墾し、大火や風雪害、などに遭いながら、大麦・小麦、乳用牛などの畜産・酪農経営まで広げるが、事業のほとんどが失敗に終わり、晩成社は解散、無一文となる。

しかし時を経て、現在食糧自給率1240%を誇る帯広の事業のほとんどが、晩成社が端緒となっている。

死の間際「晩成社には何も残らん。しかし、十勝野には…」と述懐した。

# KOYANAGI真柄CLINIC

1915年に開設された真柄医院を再構築し2012年開業。2023年8月に創立108周年を迎えました。

## 3つの使命と5つの行動

1.外来 2.往診 3.予防

1.自動化 2.機動化 3.教育・訓練 4.ペーパーレス化 5.地域社会構築

小柳 亮（こやなぎ りょう） 医師・医学博士

1972年 神奈川県鎌倉市生まれ（本籍：上越高田）

1998年 川崎医科大学卒業

1998～2001年 厚生労働省医系技官

2001～2012年 東京女子医科大学循環器内科、東京女子医科大学大学院卒

2014年～医療法人 小柳真柄医院 理事長

新潟市医師会代議員

2020年～新潟県医師会理事

日本医師会未来医師会ビジョン委員会委員

2022年～日本医師会未来医師会ビジョン委員会委員長

日本医師会医療政策会議かかりつけ医WG委員

2024年～新潟県総合計画評価・策定検討委員会 委員

# 自らの地域医療を面としてとらえる



済生会新潟病院

木場地区

黒埼地区

黒埼地区 25,893人

中ノ口川

新潟市南区  
人口46,212  
世帯数15,514

曾野木団地

すみれ訪問看護ステーション  
24時間対応

KOYANAGI真柄CLINIC  
24時間対応

大通団地

信濃川

白根大通病院

新潟白根  
総合病院  
9km先

令和5年12月6日 厚生労働省  
第2回かかりつけ医機能が発揮される制度の施行  
に関する分科会資料4 提出資料3-1  
「地域社会におけるかかりつけ医機能とは何か」

当院の医療圏から白根大通病院・新潟白根総合病院への  
面としてのかかりつけ医機能の構築

それぞれの医療機関が訪問看護ステーションを持つ  
長所を活用

2.5次救急  
済生会新潟病院

塩俵・鷺巻地区

外来受診

外来受診

顔の見える関係

病診・診診連携による面としてのかかりつけ医機能

黒埼医療圏  
(木場、板井、金巻、大野、鳥原)

KOYANAGI  
真柄CLINIC  
(かかりつけ・往診・訪問診療)

白根大通病院  
(かかりつけ・慢性期・ターミナルケア・地域包括ケア病棟)

新潟白根総合病院  
(かかりつけ・急性期・地域包括ケア病棟)

すみれ訪問看護ステーション

しろね訪問看護ステーション

新潟白根総合病院訪問看護ステーション

湯沢・野井

各々の訪問看護ステーションから、各地区への訪問・専門看護をする事により  
効率的な医療・看護提供が可能に。将来的には看取りなども共同で

湯沢

訪問看護

訪問看護

庄瀬、新飯田、白根・中之口・高井興野から鳥原まで広いエリアを効率的にカバーする。

# 松本吉郎会長諮問

「若手医師の期待に応え続けていく医師会のあり方」

# 未来医師会ビジョン委員会の歴史

## 医療研究委員会（武見会長時代）

## 未来医師会ビジョン委員会（坪井会長時代）

第一次（1998～1999年）「21世紀少子高齢社会での医師会及び医療制度のあり方」

第二次（2000～2001年）「将来の日本医師会はいかにあるべきか」

第三次（2002～2003年）「今、医師会として何をなすべきか」

## 医師会将来ビジョン委員会（原中会長～横倉会長）

第一次（2010～2011年）「将来の医師会活動及び医療制度のあり方」

第二次（2012～2013年）「地域医療の再興に向けた医師及び医師会の役割」

第三次（2016～2017年）「医療の今日的課題に対して医師会員は何をすべきか」

第四次（2018～2019年）「『Society5.0』における医師会」

## 未来医師会ビジョン委員会（中川会長～松本会長）

第五次（2020～2021年）「社会の変化に対応し続ける医師会であるために」

第六次（2022～2023年）「若手医師の期待に応え続けていく医師会のあり方」



## 第六次 未来医師会ビジョン委員会

- 委員長 小柳 亮 新潟県医師会理事／小柳真柄医院理事長
- 副委員長 土谷 明男 東京都医師会副会長／葛西中央病院理事長・院長
- 委員
- 安藤健二郎 仙台市医師会会長／あんどろクリニック院長
- 大塚康二郎 宮崎県医師会常任理事／大塚病院理事長・院長
- 河村 愛 弓削メディカルクリニック
- 木山 信明 浅草医師会理事／木山なごみクリニック院長
- 栗田 宜明 福島県立医科大学附属病院特任教授
- 小林孝一郎 松山胃腸科外科
- 佐賀 亮介 札幌さがクリニック
- 佐竹 真一 岐阜県医師会常務理事／さくらクリニック院長
- 志田 勇人 札幌市医師会理事／札幌ライラック病院理事長
- 須藤 雄仁 安中市医師会理事／須藤病院
- 高杉啓一郎 呉市医師会理事／博愛クリニック院長
- 竹中 俊介 静岡県医師会理事／たけなか三島東町クリニック院長
- 玉城研太郎 沖縄県医師会理事／那覇西クリニック理事長
- 長尾奈穂子 松山市医師会理事／真光園院長
- 細谷 拓真 秋田県医師会理事／細谷内科医院理事長
- 堀井 孝容 茨木市医師会理事／堀井医院理事長
- 横倉 義典 福岡県医師会理事／ヨコクラ病院院長

計19名

## 第六次 未来医師会ビジョン委員会委員会開催記録

第1回 令和4年12月16日（金）（日本医師会館・WEB会議）

・会長諮問、自己紹介、フリーディスカッション

第2回 令和5年3月4日（土）（日本医師会館・WEB会議）

講演「若手医師のニーズ変化に対応した新潟県の医師確保戦略を実践して分かった若手医師のホンネ」  
新潟県福祉保健部部長 松本晴樹

第3回

[1日目]令和5年7月22日（土）（ホテルモリタリゾート・WEB会議）

講演「医政活動と医療政策の決定の現場」参議院議員 自見はなこ

[2日目]令和5年7月23日（日）（ホテルモリタリゾート・WEB会議）

・中間報告に向けた議論

第4回 令和5年9月23日（土）（WEB会議）

・答申に向けた議論

第5回 令和5年11月18日（土）（WEB会議）

・答申に向けた議論

第6回

[1日目]令和6年1月27日（土）（ホテル日航福岡・WEB会議）

講演「日本の医療と医師会」／日本医師会名誉会長 横倉義武

[2日目]令和6年1月28日（日）（ホテル日航福岡）

・答申に向けた議論

第7回 令和6年4月13日（土）（日本医師会館・WEB会議）

他 日本医師連盟を通じて  
2回の自民党青年局との意見交換会  
新潟自民党県連との意見交換会

# 日本医師会未来医師会ビジョン委員会 自民党青年局と意見交換



在宅医療や新型コロナウイルス5類変更後の医療体制や地域医療、医師の働き方改革など、実際に現場で働いている医師の立場から意見をお伝えいたしました。

日本医師会は常に未来ある若い医療人の意見を幅広く受け止め伝えていきます。

# 答申目次

第1章 日本医師会の歴史と未来医師会ビジョン委員会

第2章 若手医師が期待するもの

第3章 若手医師の期待に応える活動を続けるためには何が必要なのか

第4章 若手医師の期待に応えること、医師会組織強化、日本の医療体制強靱化の3つは同義である

第5章 若手医師や国民に向けた新時代の医師会広報のあり方

# 第1章

日本医師会の歴史と未来医師会ビジョン委員会

その意義と歴史を再確認するため  
日本医師会歴史資料館の創設

## 第2章

# 若手医師が期待するもの

1. 若手医師に向けた正確で安全な情報発信
2. 医療経営を学べる制度や病院経営学・管理学修士の学位取得などのサポート事業の創設
3. 若手医師を対象とした医療相談部門の整備
4. 政府・地方自治体における政策形成への若手医師の意見の反映
5. 研修医の医師会入会率 100%を目指す

## 第3章

# 若手医師の期待に応える活動を続けるためには 何が必要なのか

1. 海外留学制度の提供、**キャリア支援体制**の充実
2. **既存の医師向け情報サイトとの協同の可能性の模索**
3. **地域医師会による無料紹介事業の問題点の検証と改善**
4. HPKIカードの会員メリットの拡充
5. **デジタル医師資格証アプリ**の利用促進（デジタル会員などの制度構築）  
スマートな研修・労働システムの構築
6. 学術団体としてのさらなる機能強化・評価の向上
7. 学術を通じた若手医師と会員の交流機会の充実
8. 今日の**AIテクノロジー**の発展に並走したルールづくり

## 第4章

# 若手医師の期待に応えること、医師会の組織強化 日本の医療体制強靱化の3つは同義である


1. 医師会の歴史を理解し政策提言を行える若手の早期育成
2. 勤務医を取り巻く環境の最適化への支援
3. 勤務医のタスクシフト・タスクシェアへの援助
4. 「勤務医評議会」の編成
5. 全国の勤務医のための日本医師会としての「医局機能」の構築



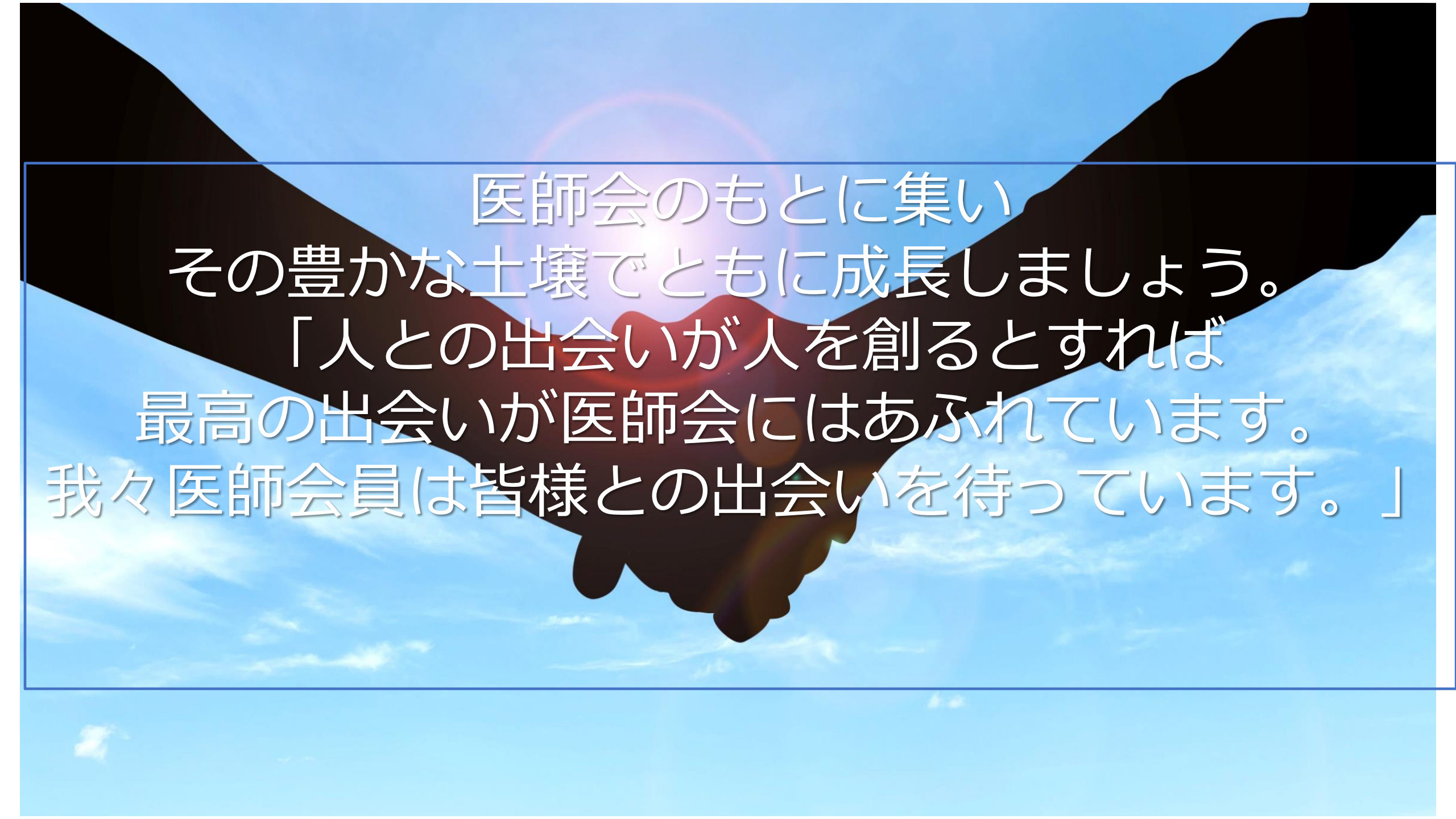
## 第5章

# 若手医師や国民に向けた新時代の医師会 広報のあり方

1. 日本医師会**広報**専門チームの創設
2. 若手医師の**発表機会**を増やす
3. 若手医師の**表彰制度**の創設

An aerial photograph of a vibrant green landscape. A winding river flows through the center, surrounded by lush green fields and a small town with blue-roofed buildings. The background shows a vast, flat expanse under a clear blue sky.

医師をはじめ医療に携わる人々の  
全世代に渡る英知  
全世代に渡る夢  
全世代に渡る未来への渴望  
これを抱擁する土壌が医師会にはあります。

The background of the image shows two hands shaking in a firm grip, set against a bright blue sky with a sunburst effect in the center. The hands are rendered in a dark, almost black silhouette, contrasting sharply with the vibrant blue of the sky. The sunburst is a bright, circular glow with rays emanating from it, positioned directly behind the point where the hands meet. The overall composition is centered and symmetrical, conveying a sense of partnership and shared purpose.

医師会のもとに集い  
その豊かな土壌でともに成長しましょう。  
「人との出会いが人を創るとすれば  
最高の出会いが医師会にはあふれています。  
我々医師会員は皆様との出会いを待っています。」